

子育て応援ーサポートを上手に活用ー

子育ての悩みを抱えていませんか？市では、お父さん、お母さんをさまざまななかたちで応援しています。今月は、市で取り組んでいる子育て支援策をご紹介します。さまざまなサポートを上手に活用して、子育てを楽しみましょう！

神崎市子育て情報ページ



子育てwithねっと

医療費助成

子どもには病気やケガがつきものです。お子さんの医療費を、18歳になる年度の3月末まで助成しています。

子どもの医療費助成

○対象

0歳から就学前までの子ども

○自己負担金

入院…1医療機関につき、
月額上限1,000円

外来…1医療機関につき、
月額上限500円を2回まで

小・中学生及び高校生等医療費助成

対象
小学1年生から高校生等

自己負担金
入院…1医療機関につき、
月額上限1,000円

外来…1医療機関につき、
月額上限500円を2回まで

お問い合わせ
市民課 国保医療係
☎37-0115



お悩み気軽に相談を

乳児家庭訪問

赤ちゃんの健やかな成長と地域で安心して子育てができるよう、赤ちゃんがいるご家庭に保健師や母子保健推進員が訪問します。

○問い合わせ

健康増進課 母子保健係
☎51-1234

乳幼児相談

お子さんの成長で気になることを相談してみませんか。保健師や栄養士が個別で相談に応じます。身体測定だけでも利用できますので、お気軽にご利用ください。

○相談日 毎月1回

※「子ども健康カレンダー」(19ページ)をご覧ください。

○ところ 千代田町保健センター

○受付時間 9時30分～11時

○持ってくるもの 母子健康手帳

○問い合わせ

健康増進課 母子保健係
☎51-1234

家庭児童相談

家庭や子育ての悩みは一人で悩まずご相談ください。専門の相談員が相談に応じます。

子育てや家事全般などに関する家庭の悩みなど、女性の悩みをお受けしています。

○相談時間 9時～16時

○相談場所
神崎市役所 福祉課内

○相談電話番号
☎37-0110

○相談メールアドレス
k-soudan@city.kanzaki.jp

※虐待の通報窓口にもなっています。

○ところ 千代田町保健センター

○予約・問い合わせ
健康増進課 母子保健係
☎51-1234

すこやか子育て相談

お子さんの成長は楽しみなものが、成長するに従ってさまざまな悩みや気になることがでてくると思います。ひとり悩まず、相談してみませんか。子育ての悩みについて、臨床心理士が個別の相談に応じます。

○相談日 年9回開催(予約制)

※「子ども健康カレンダー」(19ページ)をご覧ください。

○ところ 千代田町保健センター

○予約・問い合わせ
健康増進課 母子保健係
☎51-1234

1つ1つの相談

言葉の発達は個人差が大きいものです。言語聴覚士が個々のお子さんの状態に応じた対応の仕方などの助言指導をします。

○相談日 毎月1回(予約制)

※「子ども健康カレンダー」(19ページ)をご覧ください。

○ところ 千代田町保健センター

○予約・問い合わせ
健康増進課 母子保健係
☎51-1234



一時預かりで安心保育

一時預かり事業

仕事や病気で保育できないときなど、市内の保育園でお子さんをお預かりします。

○利用時間

平日 8時30分～17時
土曜日 8時30分～12時

○利用料金

3歳未満 1日1,800円
3歳以上 1日1,600円

○利用施設

市内全保育園

○問い合わせ

福祉課 子育て支援係

☎37-0110

子育て支援センター

子育てに関する情報発信、遊び場の提供、子育て相談に応じています。

「ひだまりの会」では、親子触れ合い遊びなど、さまざまな楽しい遊びを行っています。「ママサロン」では、子育ての悩みや家庭のことなど保育士やママ友と一緒にしゃべりしましょう。里帰り中の親子も参加できます。

日程は「子育て支援センターだより」(18ページ)をご覧ください。

○問い合わせ

子育て支援センター
☎44-49008

病児・病後児保育

病気時や病気回復期にあるお子さんを、病院などに敷設されたスペースで一時的にお預かりします。年齢、病気の程度に応じて、看護師、保育士などの職員が保育を行います。生後2ヶ月から小学3年生までのお子さんにご利用できます。

○利用時間

平日 8時～18時
土曜日 8時～13時

○利用料金

1日 1,500円
半日 750円

※別途おやつ代が必要です。

○利用施設

・かるがものへや(福田医院) 〓佐賀市木原
・ぞうさん保育室(橋野こどもクリニック) 〓佐賀市高木瀬

○問い合わせ

福祉課 子育て支援係
☎37-0110



子育て支援センター利用者(ママ)の声

「ひだまりの会」に参加している方に質問しました。

【質問事項】

- ①どのくらいの頻度で参加しているか
- ②参加しての感想
- ③神埼市のよいところ

- ①ときどき参加しています。
- ②いろいろな遊びができ、満足しています。
- ③神埼市に引越してきてから近所の方々に助けてもらっています。

- ①毎回参加しています。
- ②保育園に通っていませんが、ここで経験ができています。毎回イベントを楽しみにしています。
- ③ひだまりの会以外のイベントなども充実していて、ありがたいです。

- ①2週間に1回ほど参加しています。
- ②遊びが充実していて、満足しています。
- ③保健師や母子保健推進員が自宅に来てもらえるのがありがたいです。



《市長の部屋》

「市民協働のまち実現」へのお願い

先月号において、私は、『市民参加の神埼市・生き生きした笑顔のある元氣かんざき』を目指して』と題して就任のあいさつ文を書かせていただきました。その中で、今期4年間に取組まなければならない課題については、継続するものと新規に取り組むものがあることを記述しました。

「ハード(含継続する)もの」

- ①城原川河川整備・ダム建設
- ②神崎市庁舎の建設
- ③脊振町複合施設の建設
- ④葬祭公園の建設
- ⑤神崎市情報館の建設
- ⑥王仁博士顕彰公園の建設
- ⑦主要幹線道路の建設
- ⑧工業団地の建設
- ⑨道の駅の建設
- ⑩市営住宅の建設など。

「ソフトもの」

- ①役所の組織体制
- ②窓口対応
- ③健康・福祉サービス
- ④子育て支援
- ⑤教育支援
- ⑥農業支援
- ⑦商工業支援など。

さて、本市における合併当時の人口は微増もしくは横ばい状態でありましたが、平成22年(2010年)以降は下降線をたどり、今や、大きく減少しています。人口減少は全国的な現象であり、少子高齢化による社会問題は国家の大きな課題とされ、国は、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」を施行し、12月には「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」および「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

これを受け、佐賀県でも同様の「本県人口ビジョン」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定され、さらに、本市は国・県の内容を受けて、平成27年9月に「住みたいまちかんざきー都会すぎず田舎すぎず」を掲げて「神崎市人口ビジョン」と「神崎市総合戦略」を策定いたしました。この計画の内容については、これまでにお話をなしてきましたので、ここでは割愛させていただきます。

計画に基づく目標を実現するには、市民参加の協働が力になります。市役所が、どんなにすばらしい内容の実施プランを

打ち出しても、市民の皆さんが理解し、自らのこととして行動参加がなければ、何一つ変化はなく、進展もなく、いずれの結果を生むこともできません。

私は、今回の市長選挙を通じて感じたことがあります。市長就任以来、市政運営においてすべてをオープンに、市内情報を市民と共有するための広報公聴活動に心がけてまいりましたが、市民の方から「市庁舎建設」「脊振町複合施設建設」「王仁博士顕彰公園建設」などといった本市の大型事業については一切知らされていないし、何も知らない、無駄なことではないか、納得していない、などの発言を聞き、愕然としたことです。

これまで、それぞれの建設事業について、研究委員会、検討委員会、地域委員会、諮問委員会などと一般市民代表や議会代表(内容によっては全議員)にさらに専門知識を有する方々に広く参画を願い、しかも時間をかけて、幾度となく議論を重ねた上、なお、広く知らしめるために市報掲載と本市のホームページに掲載してまいりました。また、多くの事項についてはパブリックコメントを行い、改めて意見、要望を求めてきた



櫛田の市の様子

からです。

今後は、市民への周知の在り方を考えてまいります。市民の皆さんにお願いがあります。市政情報に対し自らも情報を求め、かつ意見を発し、研究協議の結果については自ら行動参画していただき、目的成就の喜びを共有できる市民協働のまち、神崎市を実現したいものです。市民への指導的、誘導的な市政運営には十分心がけてまいります。市民の理解と参加が重要であることから、市民協働への積極的参画を重ねてお願いします。

神埼市長

松本 茂幸

夜の市長室

※当日は来庁順で受け付けを行います(1組30分程度)。

※お住まいの地区に関係なくお越しいただけます。

どんなことでも構いません。皆さまの声をお聞かせください!

○今後の予定

とき	ところ
7月3日(火)	脊振支所 神崎市役所
8月7日(火)	

◎問い合わせ 総務課 秘書広報係 ☎37-0088



6月の千代田支所開催分には、4組4人が来庁されました。